平成 18 年度受賞企画概要

環境大臣賞　　奈川地区 「かおりとチョウの森」づくり

企画者　：　長野県松本市・特定非営利活動法人　信州ビオトープの会

評価点　：　15 種類の多種多様なかおりの樹木を使用している。また、チョウの食樹を植えてチョウを呼び寄せ、飛ぶ姿を観察したり、生きもの情報板や各樹木へのプレート設置解説したりすることで、子供の環境教育にも役立てている。

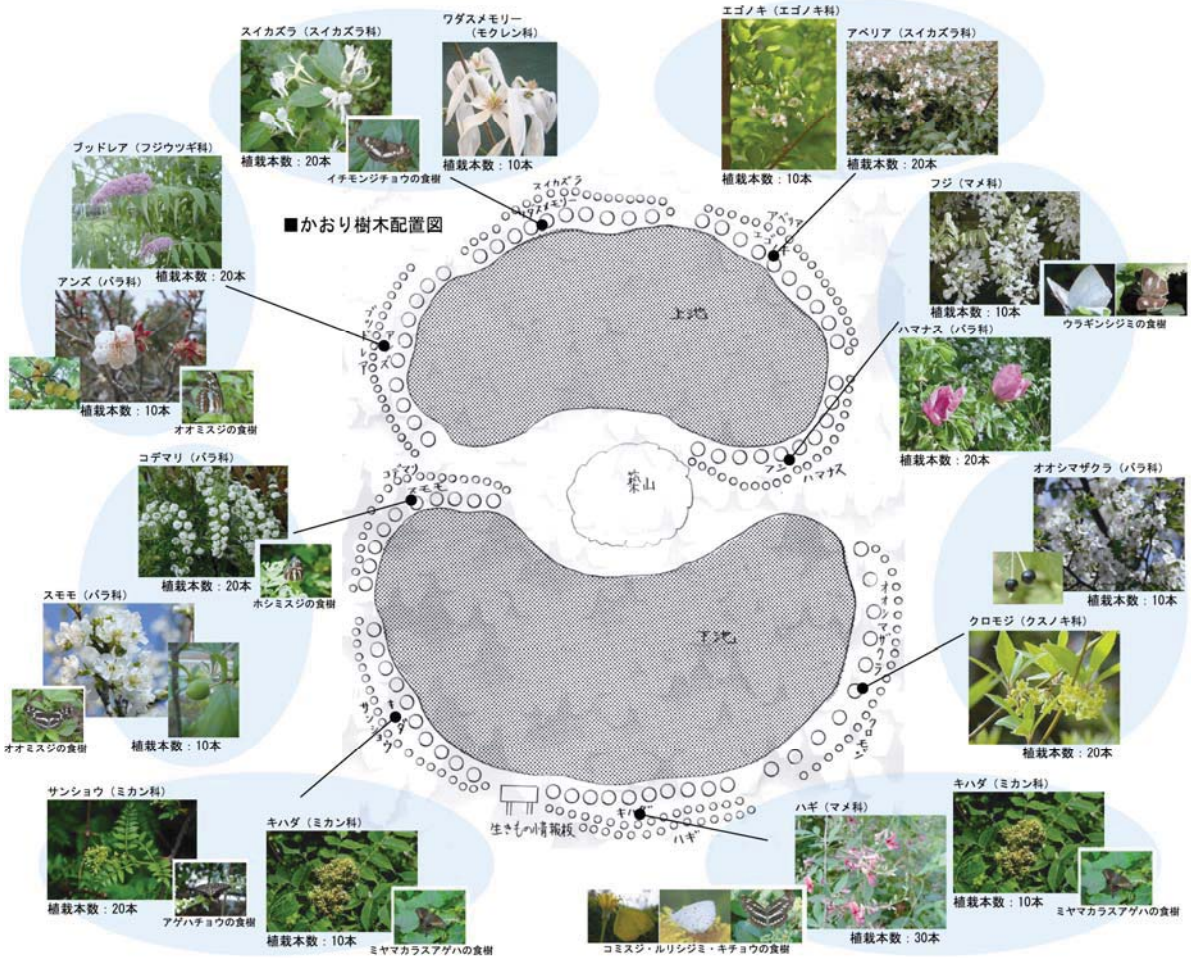
奈川地区「かおりとチョウの森」づくり

■企画の目的

奈川地区は、健光ツーリズムのモデル地区になっているため、地区内外の子供たちや訪れる人に「かおり」を感じ「チョウの飛翔」を体験してもらい、環境・情操教育役立たせることを念頭に、将来にわたっての鎮守の森的な地域の財産、地域内外の住民のためのかおりの資産の実現を目指し、以下の4点をねらいとする。

①かおりのある樹木を植栽して、かおりを楽しむだけではなく、チョウなど昆虫の生態の学習の場としての機能を持つ
②地区内外の子供たちに、四季を通じて生きた素材により原体験を経験してもらう
③子々孫々へと森を継承するために、気候風土に適した郷土樹種を出来る限り選定
④NPO法人と提携し、イベント時のガイドや随時自然学習時への便宜を図る

■植栽予定地の現状

○全体面積は約7ヘクタール、芝生広場などオープンスペースが広く、子供向けの遊具も配置。色々な樹種の森や昆虫の集まる森のゾーンがあれば、真の自然体験や環境教育に役立つと思われる。
○公園内には二つの池があり、周囲は岩組みとなっているだけで、オープンスペースになっているため、動植物への配慮がなされているとはいえない。
○上の池の北側図。低木が僅かにあるだけで、樹木はまばらなためここに新たにかおりのある樹種やチョウの食樹を植えることが可能。
○下の池の西側図。「親水広場」という既存の看板があるが、この辺りに「生きもの情報板」を設置し、タイムリーに体験や観察の出来るかおりの情報やチョウの情報を、逐次更新しながら、表示し管理していく。

■将来イメージ